

あに

編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課
印刷所 秋田県阿仁町阿仁会印刷所

104号

議会特集

'70

4月

一般計 一會

4億7千974万円

ことしの重点は

道路整備と産業振興



施政方針

町長 沢井作蔵

はじめに

昭和四十六年度の町政をすゝめるに当り、施政の大要について申し上げ、町民のみなさんご理解とご協力をお願いいたします。過去年間町政を担当して痛感させられたことは、現代の社会情勢の中で、町は極めてきびしい状態におかれており、それなりの地域課題と、住民の多くの方

が生活上の悩みを抱えているということ。自治体行政の使命は、いうまでもなく、住民福祉という言葉のごとく、地域住民の生活を高めることにあり、総額四億八千万円におよぶ予算も、そうした基本のもとに編成しました。

昨年度において、福利厚生および教育施設等の建設事業が一応メドがついたことで、本年度は、産業の振興と、きびしい情勢下にある農業と、地域開発のための道路交通網の整備を重点としました。

農業をみつめ

町内全世帯の三分の一が農家であり、農業は当町の基幹産業であります。その農家が、いま減反といきびしいかつてない困難に直面しており、一つの転機

に立たされています。農業の将来を見つめ、新しい展望に立つた農業政策が緊要であり、農家の経営安定をはかるため、まず大規模な協業体制を確立し、設備投資の効率化と省力化をはかりながら、余剰労働力を畜産をはじめ、県内の適切な指導による転作、さらには地域特産物の生産に充てるなど、総合農政を押し進めたいと考えます。

本年は、その具体策として大巾な圃場整備と、和牛飼育および特産物の奨励を計画しました。農政は、極めてむづかしい問題で、その解決には容易ならぬものがありますが、この実現については、関係各機関をはじめ農家各位の協力体制が必要であり、よろしくご協力をお願いします。

開発は道路から

また、なんといつても当町の課題はへき地性の脱皮にあるといえます。道路網の貧弱さは、永年にわたり当町の経済を停滞させ、発展を阻害してきました。へき地性の解消と地域開発のためにも、道路網の整備こそ急務と考えます。

積年の念願である鷹角線開通も、関係者一丸となつての精力的な陳情運動がようやく功を奏し、北口比立内からの着工に明るい見とらしとなつてきました。今後はこれが完遂をめざし、さらに一層努力して参る所存であります。

この鷹角線と、開通まであと三キロ足らずという国道一〇五号線が近い将来開通した時、当町の新しい未来が開けるものと確信し、そうした事態に対処するために、本年は町内各道路の延長および舗装等改良工事を積極的に行なう方針です。

産業 観光 福祉

農業、道路政策とあわせ、鉱山町としてその再開、発展のための産業道路の開設更には将来を期待される観光資源、地下資源の開発に

も積極的に予算を計上しました。

また、福利厚生面では、新に大規模ゴミ処理焼却場の建設と、収塵車を購入し町の生活環境美化をはかると共に、本年は老人憩の家並に伏影児童館の建設を予定しています。

教育の充実

教育関係では、引続き学校給食事業を推進し、更に本年は学校建設にかわり、大巾に学校内部の机、椅子教材器具の整備充実をはかることにいたしました。また、本年は全県中学校スキー大会を当町で開催することになり、学童のスポーツ振興体育向上のためにも絶好の機会と存じます。

社会教育は、人づくりの中心でもあり豊かな人間性をはかるためにも、ますます必要性を高め、予算も住民一人当千円余となりました。以上、本年度の方針を述べましたが、「住民との対話」という私の政治姿勢を基調に、相たずさえ、積極的に町政をすすめてまいりたいと念願しておりますのご協力をぜひにお願い申し上げます。

本号は、四十六年度の町政の方向について、三月定例町議会の決議事項をはじめ施政方針や本年度の重点実施事業を中心に、特集号としました。

今年の主な事業

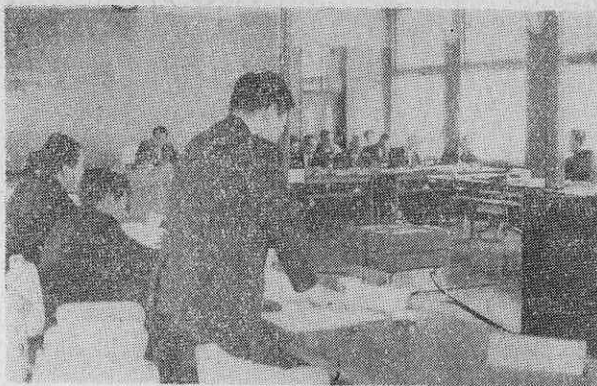
四十六年度の主な事業についてお知らせします。なお、細部については五月中に全世帯に配布予定の「町政のしおり」で紹介いたします。

総務

◎交通災害共済 加入に補助
激増する交通事故の万一にそなえ、交通災害共済加入をおしす、めるため、次のとおり補助します。
保育園児、小

◎役場庁舎の改造
庁舎がせましく、役場に来る利用者は何かと不便をおかけしておりますので、利用しやすいよう改造する
予算 四十五万円

◎町有林の造成
町の基本財産造成のため、本年も町有林の植林四・五ヘクタールを行なう。
予算 百三十六万円



46年度の町政の方針を審議する3月定例町議会は3月20日から27日までに行なわれ26の議案が可決されました。(3月22日役場会議室で)

◎統一選挙の実施
本年は統一地方選挙の年であり、知事、県議選につづいて六月には参院選、秋には町議会議員の選挙が行なわれます。
予算 二百二十万円

◎交通安全の推進、移動町民室などを実施します。
はかに、出稼ぎ対策や町勢要覧の作成、交通安全の推進、移動町民室などを実施します。

民生

◎ゴミ処理事業

自然環境に恵まれているとはいえ、町内各処に見られるゴミの投棄は、美観をそこね町の公害と化しつつあります。このため、本年は、本格的なゴミ処理施設事業を実施することとし、大規模焼却炉建設に千四百万円、収塵車二台購入二百五十四万円を計上し、環境衛生の整備をはかることにしました。

◎「老人親の家」建設
高齢人口が増加している実情から、老人福祉の一環として、おとしよりが自由に利用できる施設「老人親の家」を建設します。
予算 六百六十八万円

◎伏影に児童館建設
人づくりに、地域の住民が集まれる集会所が必要で、昨年、伏影に児童館を設置することにしました。

◎老人医療費の補助
老人の健康保持のため、昨年からの七十五以上の老人に對して医療費の補助を実施してきましたが、従来所得制限をなくして、七十五以上であれば、どなたでも医療費の補助をうけられることになりました。

◎老人の健康診断の補助
そのほか、住民の健康管理に成人病検診、妊婦のママミルクと牛乳の無料支給、老人の無料健康診断をはじめ、心配ごと相談の開設、寝たきり老人の家庭奉仕、新装なつた老人ホームの運営、保育所、母子福祉事業など実施します。

農林水産業

基幹産業である農業をとりまく情勢はきびしく、将来、農家が自立経営できる基盤を確立するため、重点的に投資しました。

◎大巾に土地改良事業

農家の経営安定をはかるためには、協業体制が心要であり、本年はその基礎づくりである大巾な土地改良

三月定例町議会 主な決議事項

昭和四十六年度の町政の方針を定める三月定例町議会は、三月二十日から二十七日までの会期八日間におたり開かれ、慎重審議の結果総額四億八千万円におよぶ一般会計予算をはじめ、二十六の全議案が原案通り可決されました。

▼請願の採択
次の三つの請願がいつれも採択され、委員会に付託されました。○は陳情者

○国有林野事業に従事する労働者の雇用の安定と、処遇改善のために必要な方策を講じてほしい。(全林野阿仁営林署分会委員長高橋文夫)

○生産者農家に対し、米生産調整奨励金を昨年を上廻る助成措置をしてほしい。(秋田県農業団体米穀対策部長長谷山行毅)

○法度山にある公有財産無断伐採について解決を図ってほしい。(阿仁町親交会々々長湊兵治)

▼45年度一般会計補正
給食センターの建設工事が遅れたことにより、給食実施が当初予定より遅れたため、それに伴ない歳入が減となったのと、ほか、物件費が若干増となり、一般会計で五百四十五万五千円が減額補正されました。

▼大阿仁財産区会計補正
大阿仁財産区会計で、支所と公民館建設費用として財産の一部を処分し、歳入百八十万円を予定していたのが、実際処分したところその額に満たなかつたためその減額分五十万円が減じられました。

▼比立内など町道三路線を認定
比立内の旧営林署軌道五百米(公民館地点から三叉路まで、巾二・五米)を、将来営林署より無償交付をうけることで、町道として認定しました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼国保会計の補正
国民健康保険会計で、支払い医療費が増えたことにより、五十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

▼阿仁合財産区会計補正
阿仁合財産区会計で、造林事業に用いる借入金、年度途中で認められなかつたのが、再び復活したことにより、四十万円が増額されました。

畜産振興事業

米作プラス畜産、特に肉牛の主産地をめざし、年次計画で普及をはかる方針ですが、本年も次のとおり畜産振興事業を実施します。

- 家畜導入三十頭二十四万円
- 肥育牛貸付金四百七十八万円
- 草地造成補助四十八万円
- 自営肥育研修派遣費二十五万円

地下資源の開発

観光開発とあわせて、地下資源開発のボーリングを実施するため百五十万円を計上、これに対する県の補助が見込まれています。

土 木

重点施策である土木事業については、町内各道路網の整備、舗装改良を大巾にとりあげ、交通の便と生活環境の整備をはかることにしました。

土木費の予算も前年の倍近い六千九百万円を計上しています。

町道各路線を整備

町道の改良、舗装工事として次のとおり実施します

- 側溝改良
- 長野町線、下浜線
- 阿中線、上新町線
- 道路改良
- 小淵喜鶴線、水上線
- 道路舗装
- 打当内線、笑内線

大町線阿仁合小学校道路

鉱山産業道路開設

鉱山の営業停止により、人口流出をはじめ、地域経済に影響をうけています。幸いにして鉱山再開のきざしもあり、新しい地域の開発とあわせ産業道路八百米を開設します。

予算 五百万円

そのほか、観光開発として自然公園および町内観光地の道路整備や林業振興、水資源確保のための稚魚の放流など、各施策の予算計上をしました。

露熊線三百米、河北線五百米、病院線役場から、真木沢線老人ホームまで、畑町東線千米。

以上、予算二千三百万円。

萱草幸屋線改良と三向橋前山橋架替

山村振興及び辺地対策事業として、萱草幸屋線の改良工事を昨年につづき行ない、三向橋と前山橋の永久橋架替工事を実施する。

予算 三千二百万円。

高津森と幸屋林道の開通

森吉山観光開発を兼ね、荒瀬川線と幸屋林道の連続をはかるため、営林署との共同で高津森林道の開発を行なう。七十五万円

上小阿仁連絡林道

四十三年度から継続中の上小阿仁村と連絡する十二

教 育

教育関係予算は九千四百五十万円

前年度より千六百六万円ほど減額になりましたが、これは、学校、給食センター、公民館など建築事業費の減によるものです。それだけに、本年は学校内部の設備教材器具の充実に重点をおきました。

●校内備品の充実
学校内部の教材備品の充実に重点をおきました。

●学校内部の教材備品の充実として、小学校に四百二十四万円、中学校に二百八十七万円と、前年より三百四十万円以上増の予算を計上しました。

●沢林道の工事を引きつづき実施する。同村道は本年工事で村界に達する予定

●小椋林道改良工事

●災害復旧工事

●社会教育の充実

●給食センターを運営
本年度から本格的に給食センターを運営し、町内六校約千五百人を対象に完全給食を実施する。

●町内各スキー場の整備
冬季スポーツの振興をはかるため、また全県スキー大会開催に備え、次のとおり各スキー場を整備する。

●阿仁スキー場のジャンプ台改築三百四十五万円

●大阿仁松森スキー場新設三十四万円

●中村スキー場ヒュッテ建設二十万五千円

●全県中学スキー大会開催
四十六年度の全県中学スキー大会が当町で開催されることになり、その予算として六十五万円を計上しました。

●社会教育の充実
生涯教育という教育の新しい展開が望まれています。が、社会教育はそのためにも更に必要とされ、本年は住民一人当たり普通計上で千八百八十円という額をみており、社会教育の充実をはかることにしました。

●町内の公民館の備品として三十万四千円を計上し、運営の円滑化をはかります。

●そのほか、阿中屋体の便所新設、教職員研修機会の拡大、町民体育祭の開催、さらには、年度途中において財源確保に努力し、町民プールを実現したいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

ました。小学校六年と中学校三年の全校の机と椅子が新調されることになりました。

●給食センターを運営
本年度から本格的に給食センターを運営し、町内六校約千五百人を対象に完全給食を実施する。

●町内各スキー場の整備
冬季スポーツの振興をはかるため、また全県スキー大会開催に備え、次のとおり各スキー場を整備する。

●阿仁スキー場のジャンプ台改築三百四十五万円

●大阿仁松森スキー場新設三十四万円

●中村スキー場ヒュッテ建設二十万五千円

●全県中学スキー大会開催
四十六年度の全県中学スキー大会が当町で開催されることになり、その予算として六十五万円を計上しました。

●社会教育の充実
生涯教育という教育の新しい展開が望まれています。が、社会教育はそのためにも更に必要とされ、本年は住民一人当たり普通計上で千八百八十円という額をみており、社会教育の充実をはかることにしました。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

単事業で施行される見通しなので、林道にすることに、同路線の改良工事も県で実施してくれるというために措置したものであります。

●戸籍記載証明を無料に
厚生年金や、失業保険の手続きなど、戸籍で記載証明を必要とする場合の手数料が無料となりました。

●農業共済賦課単価の改正
農業共済の水稲共済の賦課単価を、現行十アール当百七十円を百九十円に改正しました。これは、減反により賦課収入額が減少したため、その分現行加入者の負担となつたものです。

●農業共済会計の補正
家畜共済保険加入者が増えたため(六十五頭増)、共済会計で増加分十九万二千円増額補正になりました。

●固定資産評価審査委員に辻良蔵氏
任期満了による固定資産評価審査委員に、辻良蔵氏(新町、六〇歳)の再任に同意しました。任期は三年。

●町の監査委員に菅原利男氏
町の監査委員の任期満了により、菅原利男氏(新町五十七歳)の再任に同意しました。任期は三年。

●消防団員の定数減と出場手当の増額
町の消防団員の定員数を三百四十九人から三百人と

しました。これは、現在の団員を更に減らすというのではなく、実際の団員が現在三百人しかいないというので、これによって消防力の低下を期たさないよう、質的充実をはかりカバーする方針です。

また、消防団員の待遇改善として、出場手当を四月一日から、現行四百円を六百元に引きあげました。

●教育委員に佐藤松治氏
前古河所長草薙氏の辞任により、欠員中だった町の教育委員に、佐藤松治氏(比立内、六十四歳)が選任されました。佐藤氏は昭和三十一年に町の教育委員に就任したことがあります。

秋田師範卒、大阿仁国民学校長、大阿仁中学校長、浦田小学校長、荒瀬小学校長を歴任、現在比立内部落会長。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

●町民プールを完成させたいと考えています。

4億7千974万円の使い途

建設事業に一億五千万円

道路整備、土地改良、ゴミ処理など

ことしの一般会計予算は、四億七千九百七十四万四千円です。

これは昨年にくらべて一千百五十一万五千円増で、伸び率は二・五％となっています。

予算の伸びが少ないのは根子小学校、老人ホーム、給食センター、比立内公民館、支所

などの建設事業が減ったことによるものです。歳入をみますと別表にもあるように、地方交付税が最も多く全体の四二％をしめ、以下町債の一八％、町税一二％、県支出金、財産収入の順となっています。

町債(借入金)が増えたのは、国県の補助対象とならない町単独の事業(町道の改良舗装など)が大巾に増えたためで、逆に、補助対象事業が少ないことにより国及び県支出金、寄付金が減っています。

歳出では、建設事業が災害復旧とあわせて一億五千二百五十万円と三三％を占め、各款別での比較では、土木費と衛生費が前年の約二倍の大巾な伸びとなっていますが、これは、本年の重点施策である道路整備事業が増えたのと、ゴミ処理施設事業によるものです。

り国及び県支出金、寄付金が減っています。

歳出では、建設事業が災害復旧とあわせて一億五千二百五十万円と三三％を占め、各款別での比較では、土木費と衛生費が前年の約二倍の大巾な伸びとなっていますが、これは、本年の重点施策である道路整備事業が増えたのと、ゴミ処理施設事業によるものです。

逆に、民生費、教育費、災害復旧費、消防費は、学

特別会計は別表のとおりですが、病院会計をのぞく各会計総額は八百八十八万九千円で、前年より三百万円増となっています。

特別会計は別表のとおりですが、病院会計をのぞく各会計総額は八百八十八万九千円で、前年より三百万円増となっています。

減反など、通年施行による引受加入者の減で、前年

一般会計 歳入の内訳

款	本年度 本予算額	前年度 前予算額	比較
町	55,964	55,145	819
自動車取得税交付金	3,500	2,600	900
地方交付税	202,637	181,238	21,399
交通安全対策特別交付金	1	50	△ 49
使用料及び手数料	6,904	2,911	3,993
国庫支出金	28,748	76,477	△ 47,729
県支出金	45,573	49,773	△ 4,200
財産収入	1,078	4,178	△ 3,100
付入金	3,052	8,775	△ 5,723
繰入金	8,600	10,100	△ 1,500
越収	1,000	500	500
諸収	36,187	21,282	14,905
町債	85,500	55,200	30,300
計	479,744	468,229	11,515

歳出の内訳

款	本年度 本予算額	前年度 前予算額	比較
議	10,546	10,210	336
総	70,649	64,968	5,681
民	52,769	81,934	△ 29,165
衛	33,844	13,466	20,378
生	165	147	18
産	71,803	69,549	2,254
水	12,528	6,610	5,918
産	69,227	36,968	32,259
農	5,865	9,810	△ 3,945
商	94,682	106,108	△ 11,426
土	6,041	29,157	△ 23,116
木	36,198	23,213	12,985
防	5,655	8,535	△ 2,880
育	9,772	7,554	2,218
復			
旧			
債			
金			
費			
支			
出			
備			
費			
計	479,744	468,229	11,515

農業共済会計

より約百万円減となっています。

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	比較	単位 千円
農業共済会計	7,599	8,610	△ 1,011	減
国民健康保険	51,116	48,555	2,561	
中村診療所	1,380	1,284	96	
阿仁合財産区	21,062	16,316	4,746	
大阿仁財産区	732	4,064	△ 3,332	
病院会計	101,100	87,574	13,526	

減反など、通年施行による引受加入者の減で、前年

○病院会計

前年より一千三百五十万

○阿仁合財産区会計

財産区会計からの一般会計への繰出しが増えるため

○国民健康保険会計

支払医療費(患者への七割給付)の増加に伴ない、

○阿仁合財産区会計

五時までは、八時半から

○阿仁合財産区会計

円以上の高額の方は、

○阿仁合財産区会計

銀行との支払関係もあ

○阿仁合財産区会計

け三時前に来ていただ

○阿仁合財産区会計

ります。

○阿仁合財産区会計

ります。

○阿仁合財産区会計

ります。

○阿仁合財産区会計

ります。

窓口から
支払いの
お知らせ

役場からの各商店に
対するお支払いは、毎
月十六日を指定日とし
てご協力いただしてい
ます。(十六日が休日
の場合は翌日)

時間は、八時半から
五時までは、八時半から

円以上の高額の方は、

銀行との支払関係もあ

け三時前に来ていただ

ります。

ります。

ります。

ります。

ります。

ります。

ります。

ります。

円増の予算ですが、設備投
資した償還金が主となって
います。

病院会計は、経営面では
赤字という困難に直面して
おりますが、住民の健康保
持機関という使命に立って
現状打開のための抜本策を
構じ、その健全運営をはか
っていく方針です。

病院では更に設備充実と
患者サービスにつとめ、み
なさんに利用されるよう努
力していますので、健康相
談などお気軽にご利用くだ
さい。